

# 古文ドリル：「つつ」の識別 100問

対象：高校生・大学受験生（共通テスト～難関私大・国公立二次まで） 著作権：個別指導塾フィット / 中本裕太

## はじめに：「つつ」の正体（3用法）

古文の接続助詞「つつ」は、**反復・並行・継続**の3つの意味を持ちます。**連用形にのみ接続**する点が「ながら」との大きな違いです（「つつ」は体言に付かない）。

用法	意味	訳	例
① 反復	同じ動作のくり返し	～しては	寄せ <b>つつ</b> 返す
② 並行	2つの動作が同時	～しながら	歩き <b>つつ</b> 歌ふ
③ 継続	動作・状態が続く	～し続けて	物思ひ <b>つつ</b>

接続は**動詞・形容詞・形容動詞・助動詞の連用形**。活用しません。和歌の結句の前に置かれて余情を生む用法も頻出です。

### 識別の鉄則

1. **直前は必ず連用形**（四段はイ段、下二段はエ段、カ変は来〔き〕、サ変は「し」）。体言+つつは不可。
2. **同じ動作のくり返し** → **反復**「～しては」。
3. **2つの動作が同時** → **並行**「～しながら」。
4. **動作・状態が続く**（特に心情） → **継続**「～し続けて」。和歌の余情もここ。
5. 「ながら」は体言にも付き逆接もあるが、「つつ」は連用形のみ・逆接なし。

## 🎯 解き方のコツ（試験本番で3秒）

### コツ① まず連用形を確認

- 「つつ」の直前は連用形（歩き・思ひ・見・寝〔ね〕）。体言なら「つつ」ではない。

### コツ② 反復・並行・継続を文脈で

- くり返しの動作（寄せては返す） → 反復。
- 同時の動作（歩きながら歌う） → 並行。
- 心情・状態が続く（物思いにふけり続ける） → 継続。

### コツ③ 和歌の結びの前は余情の継続

- 和歌末に「～つつ」とあれば、余韻を残す継続の用法が多い。

### よくある引っかけ

- すべて「～ながら」と訳さない。反復・継続が古文では重要。
- 「ながら」は体言+ながら（昔ながら）が可、「つつ」は不可。

## 採点表

各セッションごとに自己採点し、最後に合計を記録してください。

- 基礎 (Q1～Q20) : /20
- 標準 (Q21～Q50) : /30
- 応用 (Q51～Q80) : /30
- 入試レベル (Q81～Q100) : /20
- 合計 : /100

## 【第1部】基礎編 (Q1～Q20)

反復・並行・継続の3用法を見分ける。

Q1. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。

波寄せ**つつ**返す。

Q2. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。

歩き**つつ**歌ふ。

Q3. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。

物思ひ**つつ**寝 (い) ぬ。

Q4. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。

行き**つつ**帰り**つつ**す。

Q5. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。

笛吹き**つつ**行く。

Q6. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。

月を眺め**つつ**明かす。

Q7. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。

散り**つつ**積もる。

Q8. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。

泣き**つつ**語る。

Q9. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。

恋ひ**つつ**ぞ経る。

Q10. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。

見**つつ**忘る。

Q11. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。

来（き）つつ去りつつす。

Q12. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。

杖つきつつ歩む。

Q13. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。

待ちつつ今日も暮れぬ。

Q14. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。

寄せつつかへる波。

Q15. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。

食ひつつ話す。

Q16. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。

嘆きつつ年を経。

Q17. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。

立ちつつみつつす。

Q18. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。

笑ひ**つつ**言ふ。

Q19. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。

偲（しの）び**つつ**過ぐす。

Q20. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。

せ**つつ**やめ**つつ**す。

## 【第2部】標準編（Q21～Q50）

文脈で反復・並行・継続を絞り込む。

Q21. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。

涙を流し**つつ**祈る。

Q22. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。

思ひ出で**つつ**泣く。

Q23. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。

咲き**つつ**散り**つつ**す。

Q24. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。

経（きやう）読み**つつ**行く。

Q25. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。

わびしと思ひ**つつ**住む。

Q26. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。

降り**つつ**やみ**つつ**す。

Q27. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。

数珠（ずず）繰り**つつ**念ず。

Q28. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。

慕ひ**つつ**年を送る。

Q29. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。

取り**つつ**捨て**つつ**す。

Q30. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。

月見**つつ**酒飲む。

Q31. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。

待ち**つつ**ぞ明かす。

Q32. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。

浮き**つつ**沈み**つつ**す。

Q33. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。

文書き**つつ**涙す。

Q34. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。

恋ひわび**つつ**経（ふ）。

Q35. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。

笑ひ**つつ**泣き**つつ**す。

Q36. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。

舞ひ**つつ**袖を返す。

Q37. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。

ながめ**つつ**過ぐす。

Q38. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。

結び**つつ**解き**つつ**す。

Q39. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。

手をたたき**つつ**笑ふ。

Q40. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。

嘆き**つつ**ひとり寝（ぬ）る。

Q41. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。

出で**つつ**入り**つつ**す。

Q42. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。

道行き**つつ**歌よむ。

Q43. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。

偲び**つつ**ぞ来（こ）し。

Q44. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。

寄り**つつ**離れ**つつ**す。

Q45. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。

火を灯し**つつ**読む。

Q46. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。

あくがれ**つつ**過ぐす。

Q47. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。

見え**つつ**隠れ**つつ**す。

Q48. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。

物語し**つつ**夜更かす。

Q49. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。

思ひ**つつ**ぞ寝にける。

Q50. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。

もみぢ葉の散り**つつ**流る。

## 【第3部】 応用編 (Q51～Q80)

紛らわしい並行と継続、各活用の連用形を見分ける。

Q51. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。

知り**つつ**問ふ。

Q52. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。

起き**つつ**まどろむ。

Q53. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。

寄せ**つつ**返し**つつ**す。

Q54. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。

念じ**つつ**こらふ。

Q55. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。

数（かず）かぞへ**つつ**待つ。

Q56. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。

暮らし**つつ**今日に至る。

Q57. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。

立ち返り**つつ**眺む。

Q58. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。

ささやき**つつ**過ぐ。

Q59. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。

心細く思ひ**つつ**居（を）り。

Q60. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。

上り**つつ**下り**つつ**す。

Q61. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。

涙にむせび**つつ**書く。

Q62. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。

月日を経（へ）**つつ**待つ。

Q63. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。

寝（ね）**つつ**覚め**つつ**す。

Q64. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。

弓引き**つつ**馬を駆る。

Q65. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。

恋（こ）ひ**つつ**も生く。

Q66. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。

浮かび**つつ**消え**つつ**す。

Q67. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。

御簾（みす）巻き上げ**つつ**見る。

Q68. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。

嘆かれ**つつ**過ぐ。

Q69. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。

灯（ともしび）消え**つつ**ともり**つつ**す。

Q70. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。

ものを言ひ**つつ**笑む。

Q71. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。

思ひわび**つつ**月を見る。

Q72. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。

行き**つつ**休み**つつ**す。

Q73. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。

笛を吹き**つつ**舟こぐ。

Q74. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。

待ち遠（どほ）に思ひ**つつ**経。

Q75. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。

折り**つつ**挿（さ）し**つつ**す。

Q76. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。

念仏申し**つつ**息絶ゆ。

Q77. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。

恋しと思ひ**つつ**音（おと）もせず。

Q78. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。

開け**つつ**閉ぢ**つつ**す。

Q79. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。

もの食ひ**つつ**物語す。

Q80. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。

旅寝し**つつ**日を重ね。

## 【第4部】 入試レベル (Q81~Q100)

和歌の余情を含む継続など、文脈を総合して判別する。

Q81. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。

思ひ**つつ**寝（ぬ）ればや人の見えつらむ。

Q82. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。

風吹き**つつ**波立ち**つつ**す。

Q83. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。

月を見**つつ**故郷を偲ぶ。

Q84. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。

あひ見**つつ**飽かぬ別れ。

Q85. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。

雪降り**つつ**消え**つつ**す。

Q86. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。

笛吹き**つつ**月を眺む。

Q87. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。

わが背子を待ち**つつ**経（ふ）。

Q88. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。

行き**つつ**振り返**つつ**す。

Q89. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。

涙落とし**つつ**経読む。

Q90. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。

恋ひ死に**つつ**も名を惜しむ。

Q91. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。

春来（き）**つつ**花咲き**つつ**す。

Q92. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。

鏡を見**つつ**化粧（けさう）す。

Q93. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。

古（いにしへ）を偲び**つつ**たたずむ。

Q94. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。

寄り**つつ**は離れ、離れ**つつ**は寄る。

Q95. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。

灯火（ともしび）を掲げ**つつ**書を読む。

Q96. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。

来（こ）ぬ人を待ち**つつ**今日も暮れぬ。

Q97. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。

鳴き**つつ**飛び**つつ**す。

Q98. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。

手を取り**つつ**導く。

## Q99. 次の傍線部「つつ」を識別せよ。

別れを惜しみ**つつ**立つ。

### 採点振り返り

おつかれさまでした。間違えた問題は、「つつ」の**前後の関係**をもう一度確認しましょう。

- **反復**「～しては」…**同じ動作のくり返し**。「寄せ**つつ**返す」「行き**つつ**帰り**つつ**」。
- **並行**「～しながら」…**2つの動作が同時**。「歩き**つつ**歌ふ」。
- **継続**「～し続けて」…**動作・心情が続く**。「物思ひ**つつ**」「嘆き**つつ**」。和歌の結びの前は余情の継続が多い。
- 直前は**必ず連用形**（体言には付かない＝「ながら」との違い。逆接の用法もない）。

前後が「くり返しか・同時か・続くか」を見れば、一瞬で見分けられます。

この問題集は無料です。古文の他の接続助詞（ながら・て・で）のドリルや、文法解説とあわせてご活用ください。

**誰でも古典塾** (<https://kotennosenensei.com>) / 個別指導塾フィット・中本裕太